

教科(科目)	地理歴史（地理総合）	単位数	2単位	学年(コース)	1学年
使用教科書	帝国書院『新地理総合』 帝国書院『新詳高等地図』				
副教材等	東京法令出版『新編フォトグラフィア地理図説2024』 帝国書院『高等学校新地理総合ノート』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	○地域社会と積極的に交流することで、各自の興味・関心に基づく課題を見出し、学習活動で得た知識・技能をもとに、論理的に思考し主体的に解決策を見出す能力を育成する。 ○自分の主張を分かりやすく他者へ伝え、異なる主張に対しても、協調的に意見交換しながら合意形成を図ることができる能力を育成する。 ○正解のない問いや、困難な状況に際しても、他者と協力して、粘り強く挑戦し続ける態度を育成する。 ○自分のよさや強みを自覚し、うまくいかない状況に際しても、自己をうまく管理する柔軟な態度を育成する。
カリキュラム・ポリシー	○情報端末や、教育サービスを積極的に活用し、すべての生徒が主体的かつ意欲的に学ぶことができる教育活動を展開する。 ○個々の生徒の特性や理解の状況に応じた最適な学びを提供し、かつ生徒が互いに交流しながら協調的に学びあえる授業を行う。 ○地域社会と連携することで、豊かな体験活動の場を設けながら、教科とも連携した探究学習を行う。 ○生徒が自らの学びを振り返るとともに、教師が指導の改善を図ることができる学習評価を行いながら、常に教育活動の質の向上を図っていく。

2 学習目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 地理にかかわる諸事象に関して、世界の文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みになどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に着けるようにする。
- (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多面的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通じて涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3 指導の重点

地理総合が必修になったのにはこのような背景があります。

- ①ICT 機器などで提供される地理情報を的確に読み取り、活用する方法を学ぶ。
- ②自然災害の多い日本において、災害はどのように起こり、どのような備えをすればいいのか、被災した際にどのような行動をとるかを学ぶ。
- ③環境問題などの地球的な課題において、そのような問題の原因と現状はどのようなものであるかを知り、その解消方法を考え、実行していくこと。
- ④人間やモノの移動、情報もグローバル化している中で、自分の住んでいる場所と違う地域や国を知り、いかにして共に生きるかを考え、行動すること。
これらの問題を知識として持ち、考え、行動することを求めています。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・現代の世界が抱える諸問題に対しての知識を教科書や資料、ICT 機器を用いて調べ、自らの知識としている。 ・資料から情報を読み取り、何が分かるかを判断している。	・資料から情報を読み取り、判断して判断している。 ・資料や実際調査したことを文章や表、図に表現してまとめ、発表することができる。	・世界各地の多様性を理解し、共に人間として地球的な課題を理解して、その解消のために取り組もうとしている。 ・世界各地の文化の違いを理解し、差別や紛争を起こさないように共に生きていくための方法を考えている。

5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・単元テストの知識・技能にまつわる問題。 ・小テスト ・レポートの内容 ・ワークシート で総合的に評価する。	以上の観点を踏まえ、 ・単元テストの思考・判断・表現にまつわる問題。 ・レポートの内容・発表 ・ディスカッション で総合的に評価する。	以上の観点を踏まえ、 ・レポートの内容・発表 ・ディスカッション ・課題の提出 で総合的に評価する。

6 学習計画

月	単元名	授業 時数	教材名	学習活動(指導内容)	評価の 観点	評価方法
4	第1部 地図でとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム	5	1節 地球上の位置と私たちの生活 2節 地図の役割と種類	・地球上の位置の表現や時差の考え方を理解させる。 ・地図の種類とその利用方法、それをどのようにして活用し、情報を利用できるかを、実際の地図の読図作業を含めながら理解する。	a, b, c	小単元テスト ワークシート ワークシートを用いた 考察および発表 行動観察
5	第2章 結びつきを深める現代世界	6	1節 現代世界の国家 2節 グローバル化する世界	・国家の成立条件、国家はどのようにして他の国家と区別されるのかを理解させる。そのうえで日本と周辺諸国の領土問題を学ぶ。 ・その一方で世界の国々はお互いに結びついている。国家連合・貿易・交通網・通信網・グローバル化する観光についてどのように国家同士、個人同士がつながっているかを理解する。	a, b, c	単元テスト ワークシート ワークシートを用いた 考察および発表 行動観察
6	第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際協力	6	序説 生活文化の多様性 1節 世界の地形と人々の生活	・世界の諸地域を比較するとき、どのような方法があるか理解すること。 ・地形が世界各地の生活にどのような影響と違いを与えているのかを考察する。	a, b, c	単元テスト ワークシート ワークシートを用いた 考察および発表 行動観察
7 ・ 8		7	2節 世界の気候と人々の生活	・気候は何によって形成され、気温・降水・風はどのように生まれ、地域差が生まれるかを理解する、 ・似た気候が見られる地域をまとめた気候区分の特色を理解し、そのような地域ではどのような植生が見られ、どのような生活が営まれているかを考察する。	a, b, c	単元テスト ワークシート ワークシートを用いた 考察および発表行動観察

9		7	3節 世界の言語・宗教と人々の生活	・世界の言語とその分布を理解し、言語の多様性と実際の利用、習得の実際を学ぶ。 ・世界の宗教とその分布を理解し、宗教が世界各地の生活にどのような影響を与えているかを学ぶ。	a, b, c	単元テスト ワークシート ワークシートを用いた考察及び発表 夏休み宿題のレポート発表 行動観察
10		7	4節 歴史的背景と人々の生活	・世界各地の文化が各地域の辿った歴史によって形成されていることを理解する。 ・各国の歴史的背景が現在でも様々な国の政治や文化の在り方に強い影響を与えていることを理解する。	a, b, c	単元テスト ワークシート ワークシートを用いた考察及び発表 夏休み宿題のレポート発表 行動観察
11		7	5節 世界の産業と人々の生活	・世界の農業や工業がどのような自然条件や社会条件で成立してきたのかを理解する。 ・各地域で農業や工業がどのような生活や産業を生み出しているのかを理解する。	a, b, c	単元テスト ワークシート ワークシートを用いた考察および発表 夏休み宿題のレポート発表 行動観察
12	第2章 地球的課題と国際協力	6	1節 複雑に絡み合う地球的課題 2節 地球環境問題 3節 資源・エネルギー問題	・世界には様々な環境問題とそのメカニズムを知り、それがどれだけの規模で問題となっているかを理解する。 ・環境問題の解消について個々人がどのような行動をとり、どのような場所に訴えるかを考察し、実践する。	a, b, c	単元テスト ワークシート ワークシートを用いた考察及び発表 行動観察
1		5	4節 人口問題 5節 食料問題 6節 都市・居住問題	・世界における人口・食料・都市居住問題について、その様な問題が起こる社会的背景を理解する。 ・このような問題について個々人がどのような行動をとり、どのような場所に訴えるかを考察し、実践する。	a, b, c	単元テスト ワークシート ワークシートを用いた考察及び発表 冬休み宿題のレポート発表 行動観察

2	第3部 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災	5	1節 日本の自然環境 2節 地震・津波による災害 3節 火山災害と防災 4節 気象災害と防災 5節 自然災害への備え	・日本の自然環境、とりわけ地形と気候についての特色を理解する。 ・日本は地震・津波などの自然災害による被害を受けやすい地域である。自然災害が起こるメカニズムを理解する。 ・自然災害が起こる前にはどのような備えが必要で、実際災害に遭ったときにどのような行動をとるかを考察する。またその中で周りの人々とどのように協力できるかを考える。	a , b, c	単元テスト ワークシート ワークシートを用いた考察及び発表 冬休み宿題のレポート発表 行動観察
3	第2章 生活圏の調査と地域の展望	3	1節 生活圏の調査と地域の展望	・実際に地域調査に出るためにはどのような準備をすればいいのか、どのような調べ方をすればいいのかを考察し、実践できるようにする。	b, c	ワークシート ワークシートを用いた考察及び発表

計 64 時間 (55 分授業)

7 課題・提出物等

- ・単元ごとに単元テストを行います。
- ・まとめとしてワークシートを行い、その中で課題についての考察を行い、議論や発表を行います。
- ・ワークシートを提出し、評価します。
- ・夏休みと冬休みにはレポートを課し、発表を行います。

8 担当者からの一言

「地理総合」は全国の高校において必修となる科目です。地理というと地名や用語が覚えられないために苦手な人もいるかもしれませんが、これからの人生の中で有用になる科目だと思います。

まず、ICT 機器を普段から使うデジタルネイティブのみなさんが、ICT 機器を用いて地理上の情報を活用する方法を学んでいきます。それを用いて何が分かるかを考察し、学んでいきます。

2つ目に、日本は自然災害の多い国です。単に自然災害を恐れるのではなくて、自然災害がどのようにして起こるのか、自然災害が起こっても被害を少なくする方法、災害が起こった時にどのように行動すればいいのかを学び、正しく恐れるようにしましょう。

3つ目に世界には私たちと違う文化を持っている人が沢山います。日本国内でも海外をルーツとする人たちが増えています。そのような方々を差別せずに、どのようにして共に生活していけるかを学んでいきましょう。